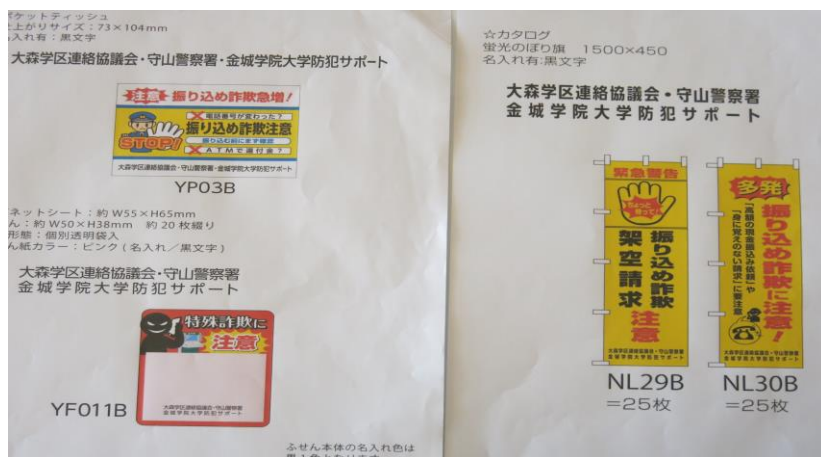


6 大森学区連絡協議会（守山区）

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	大森学区連絡協議会
2 事業名	若者世代の地域防犯参画事業
3 事業実施結果	<p>大森学区では、子ども安全パトロール隊、防犯安全パトロール隊、青色防犯パトロール隊が活動している。</p> <p>近年の社会情勢の変化による働き方改革や共働き世帯の増加に加えてパトロール隊員の高齢化による減少問題をどのようにクリアすれば良いか等検討する事とした。</p> <p>大森学区内には金城学院大学が存在し、一昨年、名古屋青年会議所まちの自治力強化委員会の方に地域と大学とのコラボ仲介をしていただいたご縁を頼って金城学院大学生生活環境学部生活マネジメント学科の教授、助教授に接触し、地域自主防犯活動活発化事業を若者世代である学生参画依頼を説明したところ、ゼミに参加している学生に呼びかけて頂けることになった。</p> <p>ただ、学生なので本来の授業後や授業の合間でしか手伝えないとの事だったが、僅かな時間でも、継続が可能と判断し小学生の下校時、子ども安全パトロール隊員と一緒に見守り活動を実施した。</p> <p>その他、特殊詐欺の被害の多い高齢者宅を戸別訪問して被害防止を図る事とした。</p> <p>1 地域自主防犯活動に際して準備した啓発品</p> <p>(1) 若者世代の地域防犯参画事業であることから、活動する際には金城学院大学生で有ることが分かる名入れとロゴ入りの活動用ベスト、防犯腕章を作成した。</p> <p>ロゴ入りベストについては、大学側にロゴの許可申請が必要で、大学の准教授に依頼し許可を頂いた。</p> <p>併せて、ベストの「金城学院大学防犯サポート」についても依頼した。</p> <p>また、啓発入りのぼり旗、ポケットティッシュ、マグネットシートについては、守山警察署の許可を得て、「大森学区連絡協議会・守山警察署・金城学院大学防犯サポート」と名入れをした。</p>



本葉は、活動に必要な注文品が届いた状況を撮影したもの

(2) のぼり旗の掲出状況

のぼり旗には特殊詐欺被害防止の啓発文が印刷されおり、学区内のどの場所に行っても目に留まるよう広範囲に掲出した。



本葉は、町内会長宅に掲出されたのぼり旗を撮影したもの



本葉は町内会長宅に掲出されたのぼり旗を撮影したもの



本葉は町内会長宅に掲出されたのぼり旗を撮影したもの



本葉は町内会長宅に掲出されたのぼり旗を撮影したもの



本葉は、大森会館、大森コミュニティセンターに掲出されたのぼり旗を撮影したもの



本葉は、大森郵便局、瀬戸信用金庫にのぼり旗の掲出を依頼した状況等を撮影したもの



本葉は、セブンイレブン、ファミリーマート、ローソンのコンビニにのぼり旗掲出を依頼した状況を撮影したもの

2 若者世代の地域防犯参画事業として児童の見守り活動と高齢者宅への特殊詐欺被害防止啓発活動等の実施

(1) 見守り活動一回目

10月29日(火)午後2時10分から大森小学校児童1年生から3年生の下校時に実施している見守り活動を金城学院大学防犯サポート、守山警察署地域課、学区子ども安全パトロール隊で実施した。

当日は、あいにくの雨だったが、最初に守山警察署から見守り活動上の注意点や実施要領について指示を受けた後、分団ごとに金城学院大学防犯サポートの皆さんも付き添い、児童と楽しそうに会話をしながら見守り活動を実施した。

活動後、金城学院大学防犯サポートの皆さんは、次の授業のために足早に大学へと向かった。



本葉は、警察官から見守り活動のアドバイスを受けさらに大学生が打合せをしている状況を撮影したもの



本葉は、児童の下校状況を撮影したもの

(2) 見守り活動二回目

11月19日(火) 今回も午後2時10分から大森小学校児童1年生から3年生の見守り活動を、前回同様に金城学院大学サポート、守山警察署地域課、学区子ども安全パーロール隊で実施した。

二回目は、一部の金城学院大学サポートの方には、警察官と共に高齢者宅を訪問してもらい、現在も被害が多発している特殊詐欺被害防止の指導と啓発活動を実施した。



本葉は、見守り活動と高齢者宅に対して特殊詐欺被害防止について啓発活動を実施している状況を撮影したもの



本葉は、特殊詐欺被害防止の啓発活動を実施している状況を撮影したもの。

金城学院大学サポートの皆さんにもアドバイスや注意点の啓発活動を実施してもらったところ「私達も勉強になりました」「実際にこのような活動

することが役に立てれば」等と感想をいただいた。

この日も金城学院大学防犯サポートの皆さんは、次の授業のため足早に大学へと向かった。

3 各種行事を通して特殊詐欺被害防止対策事業の実施

(1) 学区敬老会での啓発活動

9月16日(月・祝)午前10時から大森小学校体育館で令和6年度の敬老会が実施された。

多くの高齢者が参加されることから、特殊詐欺の被害者にならないように守山警察署生活安全課から頂いた被害防止対策等の資料を拡大印刷して、体育館内に掲示した。

また、行事進行の休憩時間を利用して、プロジェクターで中村警察署演歌ポリスの特殊詐欺被害防止替え歌の映像を流し、楽しんでもらいながら被害防止の啓発を実施した。



本葉は、大森小学校の敬老会会場を撮影したもの



本葉は、体育館壁面に貼られた被害防止対策の資料を拡大コピーとプロジェクターを通して映し出された演歌ポリスの映像を撮影したもの

(2) 民生委員会の会議で高齢者宅への特殊詐欺被害防止の啓発活動を依頼

10月16日(水)民生委員の方には、日頃から高齢者宅を訪問することから、会議の席を借りて、特殊詐欺被害防止の啓発活動を依頼した。



本葉は、特殊詐欺被害防止の説明と中村警察署演歌ポリスの被害防止替え歌を流しながら、スマホのユーチューブで見られるので話の種の一つとして高齢者に見せる方法を説明している状況を撮影したもの

(3) 5年に一度の郷祭り・秋の例大祭が開催される八劔神社に集まった参拝者に対して広報・啓発活動を実施した。

10月20日(日)午後3時から八劔神社に集まってきた参拝者に特殊詐欺被害防止の啓発文が印刷されたポケットティッシュを配布した。



本葉は、八劔神社前で特殊詐欺被害防止のポケットティッシュを配布している状況を撮影したもの

(4) コミセン祭りに特殊詐欺被害防止ののぼり旗を飾り、来場者に詐欺被害防止の啓発文が印刷されたポケットティッシュの配布を実施した。

10月27日(日)午前10時から大森コミュニティセンターでコミセン祭りが実施された。

コミセン祭り実施に合わせて、会場内に特殊詐欺被害防止ののぼり旗や啓発文のチラシを拡大コピーしたものを壁に貼り付けるなどして啓発活動を実施した。

また、来場者には、特殊詐欺被害防止の啓発文が印刷されたポケットティッシュを配布した。



本葉は、コミセン祭り会場に特殊詐欺被害防止の広報と啓発文が印刷されたのぼり旗を掲出した状況を撮影したもの

(5) 民生委員による秋の給食弁当配達に同行して特殊詐欺被害防止の啓発活動を実施した。

10月30日(水) 民生委員に同行して、給食弁当を配布する際に特殊詐欺被害防止のチラシ等を配布しながら啓発活動を実施した。



本葉は、民生委員の方が給食弁当を配布している状況と特殊詐欺被害防止のチラシ等を配布しながら啓発活動の実施状況を撮影したもの

(6) 地域商工会による元気祭りで特殊詐欺啓発活動の実施

12月1日(日) 午前10時から地域の白晴公園において、毎年商工会が主催する元気祭りが開催され多くの参加者が来場することか

ら特殊詐欺被害防止の啓発文が印刷されたポケットティッシュを配布して啓発活動を実施した。

また、演歌ポリスの被害防止替え歌をハンドマイクで流したところ「うまい、面白い、イイね」等と歌に対する反響も良かった。



本葉は、特殊詐欺被害防止の啓発文が印刷されたポケットティッシュを配布している状況を撮影したもの

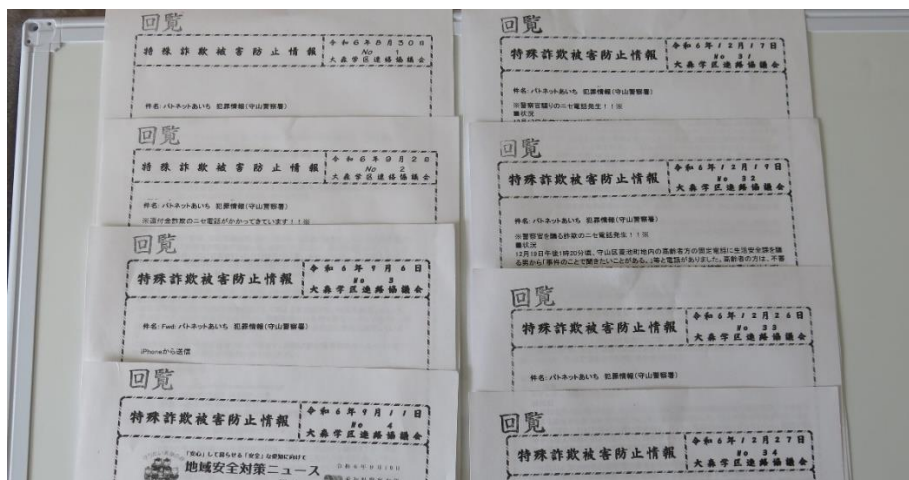
(7) 歳末警戒で特殊詐欺被害防止対策の実施

学区では、12月1日に歳末警戒を自治会員全員で赤色灯、拍子木、のぼり旗を掲げて学区内の警戒活動を実施した。

のぼり旗は、特殊詐欺被害防止の啓発文が印刷されたものを掲げ、多くの人々の目に留まるように実施した。

(8) 全戸に町内回覧板で啓発活動した特殊詐欺被害防止情報

連日警察からメールで送られてくるパトネットあいち 犯罪情報(守山警察署)の中から「還付金詐欺のニセ電話発生」「特殊詐欺の前兆電話がかかってきています」「役所を騙るニセ電話に注意してください」等の特殊詐欺関係のメールを切り取り特殊詐欺被害防止情報として全戸配布の回覧板№1から№35を作成し啓発活動を実施した。



本葉は町内回覧した特殊詐欺被害防止情報を撮影したもの

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 成 果</p> <p>金城学院大学生生活環境学部生活マネージメント学科の教授、准教授から、ゼミに参加している学生に呼びかけて頂き、10月と11月の2回大学授業の合間に、大森小学校児童の下校時における見守り活動と一部の大学生には、警察官と共に高齢者宅へ戸別訪問をして特殊詐欺被害防止についての啓発活動を実施することができた。</p> <p>また、准教授からは、「来年度も自主防犯活動活発化事業に関係なく子どもの見守り活動を3回やりましょう。」「学生に声をかけます。」等と嬉しい連絡を受けた。実施回数は少ないが、学生にも良い経験ができ成果があった。</p> <p>併せて特殊詐欺被害防止対策については、各種行事を通して啓発活動等を積極的に実施したところ、期間中詐欺被害の発生がなかった事で成果を感じた。</p> <p>(2) 課 題</p> <p>本来、学生は授業や課題で忙しい合間の時間を割いて実施する事は、大変な事だと感じた。</p> <p>可能であれば児童の下校時間帯に授業が無い人は見守りを兼ねて地域を回っていただけるような方策を考えたい。</p> <p>また地域の方にも、登下校の時間帯に自宅等から外に出て、登下校時の様子だけでなく防犯を兼ねて周囲を見まわす行動をとる方策が必要に感じた。</p> <p>特殊詐欺被害防止対策については、高齢者宅を訪問した際「実際にニセ電話がかかってきた」「前兆電話があった」等の話や、「実際に息子に頼まれたという人が来て、その人にお金を渡し、後から騙された事がわかり、息子に叱られた」等の声を聞き、高齢者に対して、こまめな被害防止情報の提供と一方的な説明だけでなく、少しでも対話しながら説明することの必要性や日頃から家族との話し合いができる場の作り方等の方策を考えたい。</p> <p>(3) 今後の取組み</p> <p>現在活動しているパトロール活動の継続並びに活動メンバーの確保。何事も他人任せでなく、出来る事は、積極的に参加する体制作りを目指したい。</p>
----------------------------------	---